

3 知的障害者更生相談事業

政令指定都市である仙台市を除く県内の18歳以上の知的障害者について、本人・家族、市町村及び知的障害者に係る施設からの相談依頼に応じ、医学的判定、心理学的判定及び職能的判定に基づく総合判定とともに、これに付随した相談支援を行い、知的障害者の更生援護の推進に努めました。

また、各種の援護を受けやすくするための療育手帳に係る相談判定については、市町村との連携構築に努めながら実施しました。

(1) 療育手帳の交付事務処理状況

(単位：件)

		前年度末現在	新規交付 (年度中)	転入 (年度中)	転出・返還 (年度中)	変更 (年度中)		年度末現在
						18歳に 達した場合	障害程度	
A (重度)	18歳未満	595	24	0	3	(72)	67	611
	18歳以上	3,907	8	5	48	72	12	3,956
B (中軽度)	18歳未満	1,997	341	10	45	(219)	(67)	2,017
	18歳以上	5,236	47	12	59	219	(12)	5,443
計		11,735	420	27	155			12,027

再交付 (年度中)	A (重度)		B (中軽度)		計
	18歳未満	18歳以上	18歳未満	18歳以上	
	25	67	34	168	294

(2) 相談判定の実施状況

知的障害者更生相談事業における相談内容は、療育手帳に関する相談が全体の79.6%を占めています。次に、年金・手当申請のための証明書発行等が20.4%を占めています。

療育手帳相談の内訳では、新規の療育手帳交付申請のための相談が5.5%で、療育手帳交付後の障害程度確認のための再判定に係る相談が94.5%となっています。

証明書発行等の内訳は、年金・手当申請のための証明書が63.0%、次いで仙台市や他県からの情報照会が、11.3%となっています。

① 面接判定実施状況

相 談 形 態		実 施 回 数		取 扱 実 人 員	
		(回)		(人)	
来 所 相 談		37		143	
巡 回 相 談	地 域 巡 回 相 談	74	64	190	178
	在 宅 等 訪 問 相 談		4		4
	施 設 巡 回 相 談		6		8
計		111		333	

② 地域巡回相談実施状況

(単位：回，人)

広域圏	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	合 計
(保健福祉 事務所)	県 仙 南	県 大 崎	県 栗 原	県 登 米	県 石 巻	県 気 仙 沼	
実施回数	8	21	5	10	12	8	64
実人数	15	62	17	27	39	18	178

③ 施設巡回相談実施状況

施 設 種 別	実 施 回 数	取 扱 実 人 員	相 談 内 容			
			療 育 手 帳 関 係		特 別 要 介 護	そ の 他
			新 規 判 定	再 判 定		
施設入所支援事業所	(回) 4	(人) 6	(件)	(件) 6	(件)	(件)
生活介護事業所等	2	2		2		
相談支援事業所						
計	6	8	0	8	0	0

④ 知的障害者相談の内容別状況

(単位:人, 件)

区分 相談形態	実人員	相 談 内 容									判 定 内 容					判 定 書 交 付 件 数			
		施 設	職 親 委 託	職 業	医 療 保 健	生 活	教 育	療 育 手 帳	証 明 書 発 行 等	計	医 学	心 理	職 能	そ の 他	計	程 度 区 分	療 育 手 帳	そ の 他	計
来所	843	0	0	0	0	0	0	843	265	1,108	28	143	143	143	457	0	843	408	1,251
巡回	190	0	0	0	0	0	0	190	0	190	17	190	190	190	587	0	190	190	380
計	1,033	0	0	0	0	0	0	1,033	265	1,298	45	333	333	333	1,044	0	1,033	598	1,631

⑤ 知的障害者相談の年度別推移

(単位:人, 件)

区分 相談年度	実人員	相 談 内 容									判 定 内 容					判 定 書 交 付 件 数			
		施 設	職 親 委 託	職 業	医 療 保 健	生 活	教 育	療 育 手 帳	証 明 書 発 行 等	計	医 学	心 理	職 能	そ の 他	計	程 度 区 分	療 育 手 帳	そ の 他	計
H27	946	0	0	0	0	1	0	946	250	1,197	69	360	360	360	1,149	0	946	610	1,556
H28	842	0	0	0	0	1	0	841	288	1,130	57	303	303	303	966	0	841	591	1,432
H29	956	0	0	0	0	0	0	956	317	1,273	55	359	359	359	1,132	0	956	676	1,632
H30	952	0	0	0	0	0	0	952	260	1,212	61	328	328	328	1,045	0	952	588	1,540
R1	1,033	0	0	0	0	0	0	1,033	265	1,298	45	333	333	333	1,044	0	1,033	598	1,631

⑥ 知的障害者相談の地域別状況

(単位：人，件)

相談内容別 市 町 村	実 人 員	施 設	職 親 委 託	職 業	医 療 保 健	生 活	教 育	療育手帳		そ の 他	合 計	療育手帳（新規） の判定状況			
								新 規	再 判 定			A	B	非 該 当	
仙 南	白 石 市	45						2	33	10	45	200		1	1
	角 田 市	35						1	28	6	35		1		
	蔵 王 町	15							13	2	15				
	七ヶ宿町	4							4		4				
	大河原町	27						1	21	5	27		1		
	村 田 町	16						3	11	2	16			3	
	柴 田 町	37						3	26	8	37			3	
	川 崎 町	9						1	7	1	9		1		
	丸 森 町	12						1	9	2	12			1	
仙 台	塩 竈 市	62						2	45	15	62	385		2	
	名 取 市	83						6	52	25	83		1	4	1
	多 賀 市	62						4	45	13	62			4	
	岩 沼 市	36							28	8	36				
	富 谷 市	27						2	20	5	27			2	
	亘 理 町	31						2	25	4	31			2	
	山 元 町	10						2	6	2	10			2	
	松 島 町	6							5	1	6				
	七ヶ浜町	14							11	3	14				
	利 府 町	18							11	7	18				
	大 和 町	25						2	15	8	25		1	1	
	大 郷 町	7							6	1	7				
大 衡 村	4							3	1	4					
大 崎	大 崎 市	161						6	121	34	161	232		6	
	色 麻 町	3							2	1	3				
	加 美 町	22						3	16	3	22		2	1	
	涌 谷 町	18						1	16	1	18				1
栗 原	栗 原 市	97						5	68	24	97	97		5	
登 米	登 米 市	116						3	96	17	116	116		3	
石 巻	石 巻 市	130						3	100	27	130	163		3	
	東 松 島 市	32						1	29	2	32				1
	女 川 町	1							1		1				
本 吉	気 仙 沼 市	92						2	73	17	92	105		1	1
	南 三 陸 町	13							10	3	13				
合 計	1,298	0	0	0	0	0	0	1,033	976	265	1,298	7	45	5	

⑦ 相談者の障害程度状況

障 害 程 度	最 重 度	重 度	中 度	軽 度	そ の 他	計
実 人 員 (人)	55	50	468	455	5	1,033
割 合 (%)	5.3%	4.8%	45.4%	44.0%	0.5%	100%

⑧ 相談者の年齢別状況

(単位:人)

区 分	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計	割合(%)
男	112	162	132	110	71	38	625	60.5%
女	72	95	95	75	48	23	408	39.5%
計	184	257	227	185	119	61	1,033	100%
割合(%)	17.8%	24.9%	22.0%	17.9%	11.5%	5.9%	100%	

⑨ 相談者の合併障害状況

(単位:人)

年 度		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
実 人 員		946	842	956	952	1,033
精神障害	てんかん	170	143	154	135	158
	統合失調症	60	63	54	41	47
	そう・うつ病	17	13	12	20	19
	心因反応	3	11	7	4	5
	そ の 他	163	52	109	97	138
	計	413	282	336	297	367
身体障害	肢体不自由	73	74	75	66	76
	視覚障害	12	12	8	8	3
	聴覚障害	13	9	8	5	9
	音声・言語障害	2	3	2	3	4
	内 部 障 害	7	21	13	10	7
	計	107	119	106	92	99
合 併 障 害 な し		775	504	537	623	651

※ 複数の障害のある場合はそれぞれに計上している。

※ その他は、発達障害を含む。

(3) 障害者支援施設利用者相談

障害者支援施設利用者相談事業

本事業については、当初、更生相談所の施設相談事業として実施し、平成15年度の支援費制度に合わせて、施設利用者相談事業と名称を変え、事業を展開してきました。また対象者は、身体障害者援護施設から知的障害者施設へと拡大し、最近では知的障害者が主となっていました。

平成25年度において本事業の在り方・位置づけを所全体として検討し、平成26年度から保健福祉事務所の地域リハ活動に移行することとし、当所は保健福祉事務所の後方支援として、専門的技術支援を行っています。

(4) 知的障害者福祉担当職員研修会の開催

(令和2年3月31日現在)

知的障害者福祉担当 新任職員研修	H31. 4. 24	リハビリテーション支援センター	市町村及び県保健福祉事務所の知的障害者福祉担当新任職員等	57人	・療育手帳制度の概要について ・知的障害の定義と判定基準について ・療育手帳及び判定に係る事務手続きについて
知的障害者福祉担当 現任職員研修	R1. 11. 20	リハビリテーション支援センター	市町村職員及び相談支援事業所支援専門相談員等	62人	・「知的障害者の意思決定支援と成年後見制度について」 宮城県サポートセンター支援事務所 所長 鈴木 守幸 氏

(5) 地域生活支援の推進に関する業務

知的障害者の相談及び指導のうち専門的な知識及び技術を必要とする処遇困難なケースに対して、援護の実施者である市町村との連携のもと、地域の知的障害者とその家族の全体的な支援を行い、地域のネットワーク化を推進するため、支援検討会議を開催しています。

令和元年度においては改めて会議形式はとらなかったものの、市町村から対応困難事例に対する電話等での相談があり、助言指導を行いました。

また、療育手帳判定ケースの中に、障害程度変更の希望や処遇困難を主訴とする事例もあり、面接判定後に市町村や相談支援事業所等の支援者も含めた判定会議を開催しており、処遇検討、支援の向上に努めました。

4 診療部門における リハビリテーション事業

(1) 障害者医療相談事業（障害者クリニック）

(2) 外来利用者のリハビリテーション医療

診療所では、平成25年度から常勤医師が2人体制となり、リハビリテーション科・整形外科・脳神経外科を設置し、受診を希望する方からの予約や医療機関からの紹介を受け、各種相談やボツリヌス療法及び障害年金申請用診断書等の作成や理学療法・作業療法・言語療法を実施しています。施設基準は、障害児(者)リハビリテーション料、脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅲ)、運動器等リハビリテーション料(Ⅱ)を取り、疾患別リハビリテーションを行っています。

現在のリハビリテーション利用者は、専門医の判断でリハビリテーションの継続が有効であると判断された方です。具体的には、今後もリハビリテーションの介入により機能改善や能力の向上が期待される方、成人の脳性麻痺の方や、若年および壮年期の脳血管障害等で就労や職場復帰を目標としている方などです。

外 来 診 療 状 況 （延べ人数）

(令和2年3月31日現在) (単位: 件)

月 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		初診及び再診	130	144	164	142	134	141	142	134	147	127	132	123
主な 延べ 内訳	理学療法	63	63	63	58	58	53	61	57	50	45	54	47	653
	作業療法	40	44	39	42	39	41	43	39	39	45	56	38	524
	言語療法	1	1	0	5	4	6	6	7	8	5	6	8	57
	年金・手帳の診断書	1	1	6	9	5	3	1	5	3	3	2	4	43
	ボツリヌス療法	3	7	5	7	2	5	6	7	6	4	8	2	62
	検査(知能・認知・神経)	0	0	1	0	0	0	0	1	3	0	0	0	5
平成30年度初診・再診		103	115	139	141	136	132	132	144	143	143	137	169	1,634

(3) 障害者検診事業

平成25年度からポリオ等による肢体不自由の方を対象に、身体機能やADLの低下を早期に発見し、二次障害の予防、機能の維持・改善、症状緩和を目的に、身体状況の評価等の検診を始めました。受検された方の満足度が高く、平成26年度から身体障害者手帳（肢体不自由）を所持している18歳以上の方等に対象を拡大しました。

また、センター会場のほか、遠方に住んでいるためセンターにおいて受検するのが困難な障害者が、移動負担が少ない近場での受検ができるように、平成30年度から試行的に6圏域（気仙沼、登米、石巻、栗原、大崎、仙南）での巡回検診を実施しました。

① 実施場所（実施回数・定員）

圏域	会場名	所在地	実施回数	定員 (1回あたり)	計
仙南	角田市総合福祉センター（ウエルパークかくだ）	角田市	1	5	5
仙台	1 リハビリテーション支援センター	名取市	7	6	42
	2 宮城県仙台保健福祉事務所 黒川支所	富谷市	1	5	5
	3 利府町保健福祉センター	利府町	1	5	5
大崎	大崎合同庁舎	大崎市	1	5	5
	大崎市岩出山文化会館（スコーレハウス）	大崎市	1	5	5
栗原	栗原合同庁舎	栗原市	1	5	5
登米	登米合同庁舎	登米市	1	5	5
石巻	石巻合同庁舎	石巻市	1	5	5
気仙沼	総合ケアセンター南三陸	南三陸町	1	5	5
	センター		7	-	42
	巡回		9	-	45
	計		16	-	87

② 検診内容

項目	内容	備考
問診等	問診票, FAI 自己評価表 (IADL の評価表), SF-36 (QOL の評価表) の記入	問診票, IADL (手段的日常生活活動: 家事, 金銭管理, 趣味等), QOL (生活の質) に関する質問に対して, 自身で記入する。(書字が困難な場合は介助者でも可)
測定	身長・体重・血圧・握力・肺活量	
計測	四肢周径・四肢長	仰向けで左右の手足の長さ・太さを計測する。
評価	FIM: 日常生活動作の評価	セルフケア・排泄・移乗・移動に関して, 本人(家族)に聞き取り, 評価する。
	MMT: 筋力の評価	評価者の指示に沿って体を動かし, 筋力を評価する。
	ROM: 関節可動域の評価	評価者が手足等を動かして, 関節の動く範囲を計測する。
	10m歩行速度: 歩行能力の評価	歩行が可能な方については, 歩く速さを計測する。
医療相談	リハビリテーション科医師による医療相談を実施する。	医師が結果を伝え, 個々の相談に応じる。必要な場合には医療機関への受診の提案, 利用可能な制度の情報提供, 補装具・動作の工夫に関する助言等を行う。
生活指導 保健指導	医療相談で必要と判断された場合に専門職が実施する。	

③ 受検者数（新規・複数回別）の推移

年度	H29		H30		R01	
項目 \ 人数	人数	割合	人数	割合	人数	割合
新規	38	65.5%	32	61.5%	29	47.5%
複数回	20	34.5%	20	38.5%	32	52.5%
計	58	100.0%	52	100.0%	61	100.0%

④ 受検者数（会場別）

項目	定員【a】	申込【b】	実施【c】	キャンセル【d】	実施率【c/a】	備考欄
角田市総合福祉センター	5	0	0	0	0.0%	中止※
リハビリテーション支援センター	42	42	40	2	95.2%	
宮城県仙台保健福祉事務所 黒川支所	5	5	1	4	20.0%	
利府町保健福祉センター	5	6	6	0	120.0%	
大崎合同庁舎	5	3	3	0	60.0%	
大崎市岩出山文化会館	5	3	2	1	40.0%	
栗原合同庁舎	5	4	4	0	80.0%	
登米合同庁舎	5	0	0	0	0.0%	
石巻合同庁舎	5	5	5	0	100.0%	
総合ケアセンター南三陸	5	0	0	0	0.0%	
計	87	68	61	7	70.1%	

※台風被害により中止。

⑤ 年齢構成

項目	人数	割合
18～29歳	2	3.3%
30～39歳	1	1.6%
40～49歳	4	6.6%
50～59歳	2	3.3%
60～69歳	32	52.5%
70～79歳	19	31.1%
80歳以上	1	1.6%
計	61	100.0%
平均年齢	64.4	-

⑥ 男女構成

項目	人数	割合
男性	24	39.3%
女性	37	60.7%
計	61	100.0%

⑦ 身体障害者手帳の所有状況

項目	人数	割合
1級	7	11.5%
2級	12	19.7%
3級	14	23.0%
4級	15	24.6%
5級	8	13.1%
6級	4	6.6%
7級	0	0.0%
無	1	1.6%
合計	61	100.0%

⑧ 主傷病

項目	人数	割合
ポリオ	27	44.3%
骨・関節疾患	17	27.9%
脳血管疾患	4	6.6%
脳性麻痺	4	6.6%
神経疾患	2	3.3%
ポリオおよび整形	2	3.3%
脊髄損傷	1	1.6%
切断	1	1.6%
多発性硬化症	1	1.6%
頭部外傷	1	1.6%
分娩麻痺	1	1.6%
計	61	100.0%

⑨ 自覚症状

(複数回答あり)

項目	計	割合
痛み	38	63.3%
歩行障害	30	50.0%
筋力低下	28	46.7%
しびれ	24	40.0%
その他	20	33.3%
疲労感	18	30.0%
冷感	17	28.3%
つっぱり	14	23.3%
筋肉が痩せた	9	15.0%
息切れ	4	6.7%
飲み込みにくさ	3	5.0%
脊柱側彎	1	1.7%

⑩ 医療相談における医師からの助言内容

(複数回答あり)

項目	件数	割合
経過観察	34	55.7%
当院受診の提案	18	29.5%
他院受診の提案	12	19.7%
運動指導	8	13.1%
補装具助言	6	9.8%
その他	8	13.1%

5 高次脳機能障害者支援事業

高次脳機能障害者支援事業は当センター支援コーディネーター（作業療法士1名・言語聴覚士1名）を中心に相談事業や研修事業を行いました。

（1）相談事業

① 電話相談・来所相談・家族相談

	実件数	延件数	相談者（延べ）		居住地（延べ）		
			本人・家族	その他	県内	仙台市	その他・不明
電話	41	49	26	23	49	15	6
所内	3	3	3	0	4	0	0
家族	12	15	11	1	5	5	5
その他	2	2	1	1	2	0	0
計	58	69	41	25	60	20	11

（家族相談会は3回開催 相談件数は家族数で計上）

相談内容内訳（延べ件数）

内 容	件数	内 容	件数
障害に関すること	10	就労・復職	6
診断・評価	14	日常生活	9
診断書作成	14	就学・復学	1
リハビリ	11	家族交流会	8
相談機関	9	連携パス	1
サービス・支援資源	10	その他	13
制度	2		

② 巡回相談

	相談・支援 実件数	相談・支援 延件数	相談者（延べ）		居住地（延べ）		
			本人・家族	その他	県内	仙台市	その他・不明
巡回	1	1	1	0	1	0	0

（内カンファレンス1回）

相談内容内訳（延べ件数）

内 容	件数	内 容	件数
制度等	0	障害・対応	1
支援機関関係	1	診断・評価	1
生活全般	0	リハ	0
就労・復職	1	その他	0
自動車運転	0		

③ 家族交流会

実施回数：2回（実数11人，延べ14人）（会場：当所，東北医科薬科大学病院）

講話，情報交換，座談会

講話内容：高次脳機能障害～日常生活で生じやすい困りごととその対応について～

講 師：東北医科薬科大学病院 言語聴覚士 目黒祐子氏

(2) 研修事業

① 令和元年度宮城県高次脳機能障害研修事業（基礎講座）

イ 開催日 令和2年2月1日（土）午後1時20分から午後4時30分

ロ 場所 東北医科薬科大学病院

ハ 研修内容

- 1) 講話「多機関・多職種による高次脳機能障害者支援の実際」
- 2) 事例検討（グループワーク）

講師及び助言者 神奈川県総合リハビリテーション事業団

地域リハビリテーション支援センター 総括主査 瀧澤 学 氏

事例提供者 気仙沼市立病院リハビリテーション科 高次脳機能障害支援コーディネーター 作業療法士 村上 友香 氏

ニ 対象者 医療機関，市町村，相談支援事業所，障害者就業・生活支援センター，地域包括支援センター，県保健福祉事務所（地域事務所）等職員（参集人数 44人）

*同日午前，東北医科薬科大学病院主催の専門研修と同日開催。

② 令和元年度宮城県高次脳機能障害研修事業（広域研修）

イ 開催日 令和元年9月4日（水）午後1時30分から午後3時30分

ロ 場所 みやぎ県南中核病院

ハ 研修内容

講演 「誰にでも起きうる見えない障害 ～高次脳機能障害とその対応について～」

講師 東北医科薬科大学病院 高次脳機能障害支援センター
副センター長・神経内科医 菊池 大一 氏

情報提供 「高次脳機能障害者支援事業における地域支援拠点病院と保健福祉事務所の役割」

講師 みやぎ県南中核病院 言語聴覚士 成田 美保 氏
仙南保健福祉事務所 職員

ニ 対象者 一般県民（参集人数 97人）

(3) 高次脳機能障害支援担当職員養成事業

① 関連する会議・研修等への参加

開催日時	内 容
R1. 6. 26	第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 第1回高次脳機能障害者支援コーディネーター全国会議
R1. 10. 19	宮城県高次脳機能障害者支援普及事業第1回専門研修会
R1. 10. 25	高次脳機能障害者支援事業担当者東北ブロック会議 第14回福島高次脳機能障害リハビリテーション講演会
R1. 11. 18～19	職業リハビリテーション研究会
R2. 2. 1	宮城県高次脳機能障害支援普及事業第2回専門研修会

(4) 高次脳機能障害に関する支援体制の整備

① 関連会議への参加

主催	開催日時	内 容
障害福祉課	R1. 8. 7	宮城県高次脳機能障害者支援事業県担当者会議

② 保健福祉事務所等への支援

主催	開催日時	内 容	支援内容
仙 台	R1. 6. 21	高次脳機能障害者家族交流会	出席
栗 原	R1. 10. 8	栗原圏域高次脳機能障害者支援連絡会議	出席
気仙沼	R1. 11. 6	気仙沼圏域高次脳機能障害者支援ネットワーク会議	出席
どんまいネット みやぎ	R1. 7. 13	ピアサポーター・リンクサポーター養成講座 「宮城県の高次脳機能障害者支援の取組について」	講師
宮城県医療ソーシャルワーカー 協会	R1. 9. 14	定例研修会 「宮城県の高次脳機能障害者支援の取組について」	講師

③ 高次脳機能障害者支援ネットワーク会議の開催

開催日時	内 容
R2. 3. 10	<p>【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。資料送付（下記（1）関連のみ）】</p> <p>参集者：支援拠点病院，地域支援拠点病院，保健福祉事務所，仙台市，障害福祉課 等 内容：</p> <p>(1) 平成31年度の事業取組状況と課題について (2) 取組報告「宮城産業健総合支援センターの取組について」 講師：宮城産業保健総合支援センター 職員 (3) 情報交換 (4) その他</p>

④ 広報等

日 時	内 容
H31. 4. 19	身体障害者福祉担当職員研修会にて事業啓発
R1. 6. 28	指定障害福祉サービス事業者等集団指導
随 時	ホームページ 更新

⑤ 高次脳機能障害評価支援（クリニック班対応 再掲）

内 容	人数	内 訳
医療保険を適応させた外来での高次脳機能障害の診断・評価等	実 4人 延べ 9人	性 別：男性 2人 女性 2人 年代別：30代 3人 50代 1人 対応者：ST 延べ9人